

【自身を救った“香りのちから、を、同じつらさを抱える子育てママたちへ】

森さんがアロマの効果を実感したのは、育児にかかりきりになっていた頃。

当時は専業主婦で、一日中子どもと2人きり。夫は仕事で忙しく、実家の家族は遠方、地元ではないため頼れる友人知人もいない…。

子育てにやりがいを感じながらも、孤独と心身の疲れが積み重なっていきました。

「疲労のためかアレルギーになってしまったんです。そんなとき役立ったものの一つがアロマ。漢方なども試したので総合的に作用したのかもしれませんが、症状が改善していきました」

森さんが感銘を受けたのは、心身の緊張を緩和する香りの作用。

「子どもと過ごしていると小さなストレスが生まれるもの。解消せずに積み重ねてけば、心がいっぱいになって爆発してしまいます。アロマの香りは瞬間的に心を和らげてくれ、気持ちの切り替えにも有効です」

心を癒やし、日々を豊かにしてくれる香りのちから。自身が得たものをママたちに伝えるべく知識を深め、子連れで参加できるアロマサークルを立ち上げました。「香りの効能を紹介しながら、風邪予防のアイテムや掃除グッズなどのアロマクラフトを作っていました。生活の中で使うものに香りを加えると、ふとした瞬間にリフレッシュできます。私と同じように、悩みや疲れを溜め込んだ人の心を解きほぐしたくてレッスンをしていました」



森さんが香りをプロデュースしているマツダ宇品本店ショールームにて



【アロマ空間デザインとの出会い、そして起業へ】

サークルでのレッスンを続けていましたが、あくまで趣味の範疇で、知識や技術を仕事にできるとは思っていなかった森さん。

そんな中、家族旅行で宿泊したホテルで運命的な出会いを果たします。

「ホテルに一步踏み入ると心地よい香りがし、すぐに自然由来のアロマだと分かりました。そのホテルでは、おもてなしの空間づくりとしてオリジナルブレンドのアロマオイルが焚かれ、お土産として販売もされていたんです。香りは生活の中で楽しむだけのものではなく、家庭を飛び出してたくさんの人に感じてもらえるもの、社会的に求められ意義があるものだと思い、目が覚める思いでした。好きなことと仕事がつながった瞬間でした」

これきっかけにアロマ空間デザインを学び、ビジネスとして活動を開始。2016年に起業しました。

【家庭も仕事も大切にする『起業』という選択】

現在は、企業の事務所や応接室、受け付け、店舗、ショールームなどでコンセプトに合った香りを提案し、ブランディングを進めています。

独自に開発した香りのアイテムの販売も行い、広島のみならず山口県や岡山県にも活躍の場を広げつつある森さんですが、忙しい中でも家族との時間を優先しています。活動は、お子さんが幼稚園・小学校に言っている間が基本。自分の暮らしの中で確保できる時間の中で働いています。「小さいうちは一緒にいてあげたいですし、私自身も『長いようであっという間の子育て期間、もっと側にいれば良かった』と後悔することのないように過ごしたいんです。今、下の子は小学校に入ったばかり。新しい環境に慣れていないデリケートな時期なので、学校から帰ってきたら家で迎えてしっかり話を聞いてあげたい。サポートが必要なうちはしっかり応えたいです。子どもの成長とともに自分の時間が取れるようになれば、ビジネスを広げていけばいい。そんなふうにライフスタイルに合わせて柔軟に活動できるのが、個人で起業するメリットの一つだと思います」



【森さん流時間管理術「まとめ」で効率アップ】

家庭と仕事のバランスを大切にしている森さん。

日中は行動できる時間が限られていますが、どのように時間管理をしているのでしょうか。

「依頼をお断りするのは忍びないし、忙しさのために機器のメンテナンスがおろそかになってはいけません。効率を上げるため、アポイントが入ったら、その近隣地域の用事を同じ日に組み込むようにしています」

例えば、A社で打ち合わせがある日は、近くにあるB社・C社のメンテナンスを同じ日にスケジュールリング。

顧客対応の時間をしっかり確保しつつ、移動のムダを省きます。

家事も考え方は同じ。

掃除も洗濯も料理も、複数のタスクをまとめて片付けることを心がけています。

「頑張ることはもちろん大切です。でも、毎日24時間全てを完璧にしようと根を詰め過ぎ、小さなでできなかった後悔、を溜め込んで自分を責めるのは辛いですね。自分がそのときできること・できないことの線引きをすることも大事だと思います」

焦りやストレスで疲れ切ってしまうと、自分にとっても周囲の人にとってもマイナス。

癒やしを仕事にする森さんならではの管理術です。



空間のコンセプトに合った香りをディフューザー（画面中央）で焚いて空間を演出。ファミリー層が多く滞在する広島マツダショールーム2階は、柑橘系のアロマ。男性にも子どもにも心地よい香りです

森さんの1日

6:30		起床・朝食とお弁当の準備
7:30		朝食
	home	子どもの見送り 洗濯などの家事
8:00		身支度・仕事の準備
9:00	work	アロマ機器のメンテナンス 営業・打ち合わせ 商品の陳列・補充 事業支援の相談・勉強会 など
17:00		夕食の準備
18:30		長女が塾に行く前の軽食 塾の見送り
19:00	home	夕食 入浴 次女の宿題チェックなど
22:00		塾の迎え
23:00		就寝

【頑張るママをしっかり見ていた娘の存在】

そんなやりくり上手な森さんにも、やりたいことが上手くいかず思い詰めていた時期がありました。

正式に起業する前、レッスンは少しずつ増えてきた頃のこと。

忙しくてイライラしてしまい、つい「もう辞めてしまおうかな」とこぼしてしまいました。

すると、上のお子さんが「ママにとってアロマはストレスを癒やすものなんでしょう？ずっとやりたかった、とても大事なことなんでしょう？それならやめちゃダメだよ」。

「ハッとさせられました。長女はいつも私の活動について何も言わず、興味もない様子でしたが、ちゃんと見てくれてたんです。私にとってアロマは社会との接点であり、やりがいも価値もあるものだとして理解していたんです」

一生懸命頑張っているママの姿は、言葉にして伝える以上にお子さんの心に響いていたようです。

上のお子さんは、下のお子さんの面倒を見るなどサポートしてくれることも多いそうです。

森さんが家庭とも仕事とも真摯に向き合っているからこそ、心強いパートナーとして成長してくれたのでしょう。



【働くママを応援したい】

スケジュールをどんなに工夫しても、お子さんを預けられない時間にアポイントが入ることも。

家族やママ友のサポートを得られる日もありますが、やむを得ない場合は、事前に担当の方としっかり相談したうえで、打ち合わせの席に下の子を連れて行くことがあります。「柔軟に対応してくださる企業さんは少なくないので、本当にありがたいです。子どもの同伴が可能なビジネスセミナーもあり、出席者の皆さんに暖かい声をかけていただいた経験もあります。滞在が短時間であること、子どもがおとなしく静かにしていることなど一定の条件はあると思いますが、子育てママへの理解が社会で広まっていくことを願っています」



【活動のステージを広げるとともに、誰かの夢を後押し】

好きなことを仕事にしたいママたちを雇用するビジョンもあります。

現在はその前段階として、3人の女性をビジネスパートナーにしています。

「1人では手が回らないこともでてきたので、アロマの仕事に興味がある人を募集し、サポートしてもらっています。ある人は元々調香の知識と技術があり、私がかまめに通えない地域で機器のメンテナンスなどをしてもらっています。これからアロマの専門知識やビジネススキルを学びたい人は、営業・打ち合わせに同行してもらって現場対応や提案の仕方などを学んでもらっています」

人材の育成によって業務をよりスムーズにし、クオリティを保ち、アロマを仕事にしたい人の背中を後押しする。

「自分がもらった幸せを他の人にも」という森さんの心ざしは、こんな面でも徐々に形になりつつあります。



オイルの補充やディフューザーのケアなどのため、毎月1回はメンテナンスに訪問します。

森さんは
香りに関する知識が広く、心身への効果、季節感の演出、男性やお子さんにも好まれる香りなど、ご自身の経験を踏まえながらさまざまな提案をしてくれます。お客様が過ごす空間を快適なものにし、ブランドのイメージ付けとともに、私たちスタッフのリフレッシュにもなっています（広島マツダ宇品本店 道迫店長）

